

(平成二十四年七月三十日)

## 子ども国会宣言

私たちは、「子ども国会～復興から未来へ～」のために全国から集まりました。きのうの委員会では、「東日本大震災からの復興と私たちの未来」という共通のテーマのもと、「家族、友達とのきずな」、「地域、日本全体のきずな」、「世界の人たちとのきずな」について、熱心に議論しました。そして、子ども国会を通じて日本の未来をより良くするために、私たちは新たな第一歩をふみ出し、次のとおり宣言します。

### 一、家族、友達とのきずなをより深めていくために

私たちは、当たり前で過ごしている生活の中で忘れがちな、家族、友達への感謝、思いやりの気持ちを大事にして生きていかなければなりません。そして、周りの人たちと積極的にコミュニケーションをとりながら、相手のためにどう行動すればいいかを考え、今できることを行動に移すことが必要だと考えます。

### 二、家族、友達とのきずなを大事にし、支援の輪を広げるために

私たちは、震災のことを絶対に忘れず、日常の幸せを自覚し、家族や友達と支え合っていきたいと思えます。そして、学校でのあいさつ運動などを通じ、あいさつや会話を増やし、やさしい気持ちや思いやりの心を持って接していきます。また、被災地のために子どもが小さな活動を続けていくことで、支援の輪が広がっていくことを望みます。

### 三、日本全体が協力して被災地の復興と安全・安心のまちづくりを行うために

私たちみんなが、震災の時の気持ちを忘れず、被災地のことを真剣に考えてボランティア活動などに取り組むことや、毎日のあいさつや地域の行事でのふれあいを通じて人々の交流を深めることなど、震災の体験をいかして、自分が、今できることを考えて行動することが大切だと考えます。

### 四、みんなが支え合い、助け合える地域や国づくりを進めていくために

私たちは、どんな状況でも周囲の人たちと助け合えるよう、「きずなの日」を設け地域の行事や活動に参加する機会をつくるなど、小さなことから始め、日本全体のきずなを固く強いものにしていくとともに、子どもも含めた一人一人が被災地の立場に立って自分に何ができるかを考え、さらに、考えるだけでなくみんな協力して行動に移し、募金活動などにこれからも取り組んでいくべきと考えます。

### 五、世界の人たちからの支援に感謝し日本が世界に役立つために

震災で大きな被害を受けた時、温かく支援してくれた世界の人々に対する感謝の気持ちを忘れず、世界で災害がおきた時には、私たちが進んで様々な支援を行うとともに、手紙でメッセージを伝えていくことが重要だと考えます。震災の経験から学んだことを世界に発信することは大切であり、これからは日本の技術をいかした防災対策や自然エネルギー分野の開発などを通じて世界に役立っていくことを望みます。

### 六、世界の人たちとの交流を深めるために

世界の人たちと一緒に勉強や仕事、スポーツなどをする機会をつくることで交流を深め、お互いを理解し合い、世界が平和になるよう行動していきます。また、被災地の人々の生活の様子について、写真やビデオレターを送ったり、インターネットで発信したりするなどして、一人でも多くの世界の人たちに被災地の現状を知ってもらうことを望みます。

私たちは、子ども国会に参加して、様々な人たちとのきずなの大切さを改めて発見できました。今後は、ここに集まった子ども国会議員の仲間たちとともに、支え合うことの大切さを、学校や地域の友達に伝えていきます。そして、子ども国会宣言を全国に発信して、きずなの大切さを広く大人の人たちにも分かってもらいましょう。

一人一人の力は小さくても、みんなで協力して行動を起こせば大きな力となります。私たちは子ども国会で出会った仲間たちとのきずなを大切にしつつ、日本の未来を希望の光で輝かせたいと願っています。